

# 日本公民館学会 2008年度 7月集会

日時 2008年7月19日(土) 13:00~17:00

場所 渋谷区上原社会教育館

参加費 1,500円(懇親会費は別途3,500円)

テーマ 公民館政策のここ10数年をふりかえり、  
今後の公民館制度のあり方を考える

## パネラー

- 1) 立田慶裕(国立教育政策研究所 生涯学習研究部 生涯学習開発・評価研究室)
- 2) 渡辺庸子(福井県公民館連合会)
- 3) 上原直人(日本公民館学会・名古屋工業大学)

司会 国生寿(同志社大学) ・ 荒井容子(法政大学)

## 【会場案内】

渋谷区上原社会教育館

所在地：〒151-0064 渋谷区上原 3-13-8

電話：03-3481-0301

交通：小田急線・地下鉄千代田線

「代々木上原駅」5分

お手数ですが、同封の出欠確認はがきを

7月10日(木)までにご返送ください。

大変恐縮ですが切手代は各自ご負担ください。



# 開催趣旨

本学会では、一昨年の公民館 60 周年記念の集会を契機とし、7月に全国規模の研究集会を開催してきました。7月は本学会にとって年次研究大会の中間に当たる時期ですが、昨年度から「7月集会」とその名称を定めました。この研究集会では、年次研究大会の内容からは自由にテーマを設定し、細かく討議の枠を決めることなく、参加者が自由に意見交換できる雰囲気とすることを目指しています。そこで、今回は、今、法案が提出され、国会で審議中の社会教育法を「改正」する政策動向を一つの契機とし、この間 10 数年の間の公民館をめぐる政策について、法「改正」、基準「改正」、補助金等の予算制度変更、指定管理者等への管理運営委託施策等の国の施策及び各市町村の公民館施策動向を話題とし、そこにどのような公民館政策の意図があったのか確認しつつ、今後の公民館制度のあり方、そのための政策のあり方等について、自由に意見交換したいと考えています。

はじめに3人の方にご報告をいただきます。まず国の公民館政策を担っている立場から、文部科学省の意向についてお話を伺います。次に、公民館関係者の組織という立場から、今回の社会教育法「改正」施策に関する公民館関係者の動きや過去 10 数年の国及び市町村自治体の公民館施策についての見方、今後の展望についてお話いただきます。その後、本学会が創設以来蓄積してきた研究活動について、その中ではここ 10 数年の公民館政策はどのように描かれ、分析されてきたか、今後の公民館制度を展望するうえでそれらにはどのような成果と限界があるか等の研究レビューを本学会会員の立場からお話いただきます。

そしてこれらの三つの報告を踏まえて、参加された会員から、報告に関する質問・意見はもとより、今後の公民館制度・公民館政策に関する提案やそのための公民館研究の課題など、自由に意見を出し合う形で討議をすすめていきます。

(研究担当理事 荒井容子 法政大学)